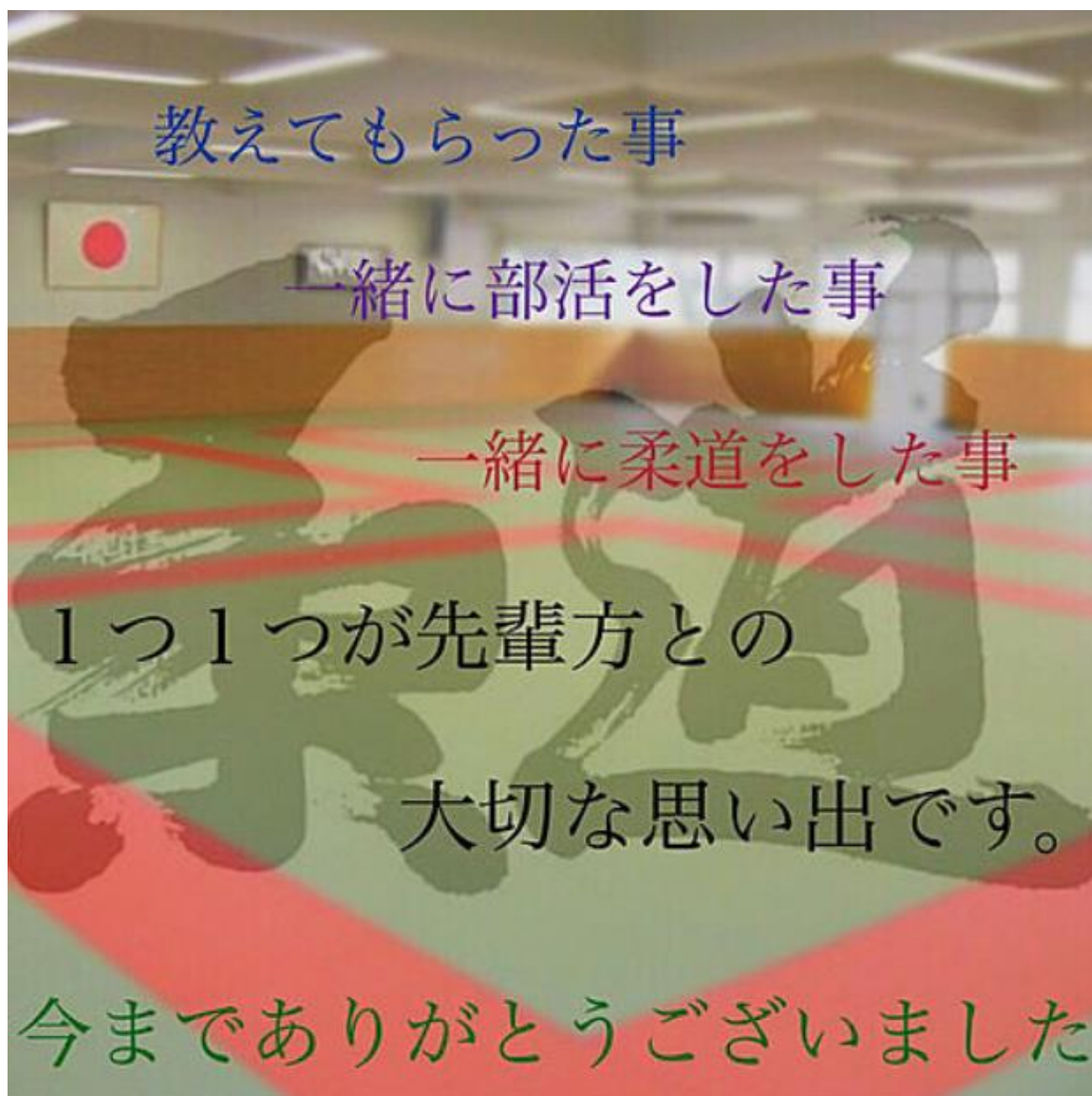


# 令和2年度 第45回仙台市中学校新人柔道大会



【主催】 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会

【主管】 仙台市中学校体育連盟柔道専門部

【期日】 令和2年10月10日(土)～11日(日)

【会場】 宮城県武道館

## 第45回仙台市中学校新人柔道大会要項

1. 主 催 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会
2. 主 管 仙台市中学校体育連盟柔道専門部
3. 目 的 仙台市内中学校生徒相互の親睦と柔道技能の向上と普及をはかる。
4. 日 時 令和2年10月10日（土）～11日（日）

10月10日（土）	10月11日（日）
<p><b>【男女団体 予選・決勝】 【女子個人戦】</b></p> <p>7：20 役員集合・会場準備・点検</p> <p>8：00 開場 受付</p> <p>8：30～ 男女団体戦 女子個人戦 非公式計量</p> <p>9：00～ 公式計量 柔道衣検査</p> <p>9：40～ 監督会議</p> <p>10：20～ 開会式</p> <p>10：30～ 競技開始</p> <p>女子個人戦が終わり次第</p>	<p><b>【男子個人戦】</b></p> <p>7：20 役員集合・会場準備・点検</p> <p>8：00 開場 受付</p> <p>8：30～ 男子個人戦 非公式計量</p> <p>9：00～ 公式計量 柔道衣検査</p> <p>9：40～ 監督会議</p> <p>10：20～ 開始式</p> <p>10：30～ 競技開始</p> <p>最後のグループが終わり次第 閉会式</p>

5. 会 場 宮城県武道館（仙台市太白区根岸町15-1 TEL249-1216）
6. 参加資格
  - ① 各学校長の責任の上、選手に参加の意思を確認し、保護者から承諾を得たうえで「大会参加に関する確認書（様式1）」と「健康観察報告書（様式2，3）」を提出した生徒であること。なお、大会参加に支障があると判断した際は、無理に参加をさせない。
  - ② 仙台市内の中学生で、6ヶ月以上の柔道修行者であること。なお、1年生がその資格を満たさない場合があるので、1年生全員「大会参加に関する確認書（様式4）」を提出した生徒であること。
  - ③ 個人情報の取り扱いについて次のことに同意すること。大会主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は競技大会の資格審査、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成、掲示板、報道発表、記録発表等、競技運営および協議に必要な連絡に利用する。
  - ④ 脳震盪に関する扱いは以下のとおりとする。選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
    - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け出場の許可を得ること。
    - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急専門医（脳神経外科）に精査を受けること。）
    - ウ 練習再開に際しては脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
    - エ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対して書面により事故報告書を提出すること。

7. 種 目

① 男子団体戦

各校1チーム出場。1チーム5名とし、体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。(補員3名を登録できる)

② 女子団体戦

各校1チーム出場。1チーム3名とし、体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。(補員2名を登録できる)

③ 男女個人戦 ①エントリーは各階級4名以内とする。

男子 50 55 60 66 73 81 90 90超

女子 40 44 48 52 57 63 70 70超

8. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定(2018~2020)及び国内における「少年大会特別規定」今大会申し合わせ事項によって行う。

(1) 団体戦

① 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。

② チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

※ 選手変更は、その都度監督が所定の用紙に記入し、以下の通りとする。

ア 委員長に提出。

イ 記録本部に提出する。

ウ 試合会場のオーダー用紙を顧問が訂正。

※ ただし提出締め切りは、以下の通りとする。

アは試合開始の1試合前までとする。ただし、連戦の場合は試合が始まる前までに提出する。

イ、ウは、試合が始まるまでとする。

③ 試合時間は3分間とし、代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して行い、「技有り」又は「僅差」以上とする。

※ 僅差は「指導差1」以上とし、得点差がない場合は旗判定により勝敗を決する。

④ 優勢勝ちの判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。

⑤ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技有」 > 「僅差」

⑥ リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式

を行う)。

⑦ トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

(2) 個人戦

① 各階級トーナメント方式とする。

② 試合時間は3分間とし、「技有り」又は「僅差」以上とする。

※ 僅差は「指導差1」以上とし、得点差がない場合は旗判定により勝敗を決する。

③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差1)」とする。

(3) 柔道衣は白色とする。

(4) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

9. 試合方法 (1) 団体戦

男子・女子は予選をリーグ戦で行い、各組の1位と2位のチームで決勝トーナメントを行う。ただし、参加チーム数によっては全参加チームによるリーグ戦を行う。

(2) 個人戦

男女ともトーナメント方式で行う。ただし、出場選手が3名のときはリーグ戦とする。

10. 計量及び柔道衣点検及び検温

(1) 計量

① 公式計量の前に非公式計量を行うことを認める。

② 非公式計量では指定時間内に自由に体重を計測できる。

③ 公式計量は指定された時間に1回とし、再計量は一切認めない。別室計量が必要なものは予め申し出ること。

④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。包帯・サポーター等の着用は、試合に出場する時と同じように身に付け点検を受けること。ただし、サポーターについては、金具等が入っているものは使用できない。使用した場合は反則負けになる。

⑤ 団体戦では登録選手全員が測定を行うこと。

⑥ 個人戦では定められた体重区分にないものは失格とする。

(2) 柔道衣点検

① 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格している認証柔道衣、帯を着用すること。

② 柔道衣にはゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。

ア 布地は白とする(晒・太綾)。

イ サイズは横30cm～35cm、縦25cm～30cm

ウ 名字は上側2/3、学校名は下側1/3の割合を基準とする。

エ 書体は太字ゴシック体を基本とする。男子は黒色、女子は赤色。

オ 縫い付け場所は襟から5 cm～10 cm 下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

カ 学校名に中は付けないこと。

③ 女子は上衣の下に次のいずれかを着用しなければならない。

ア 相当の丈夫さがあり、下穿きの中に入る十分な長さのある白色、または白色に近い色無地のTシャツ。

イ 白色、または白色に近い無地のレオタード。

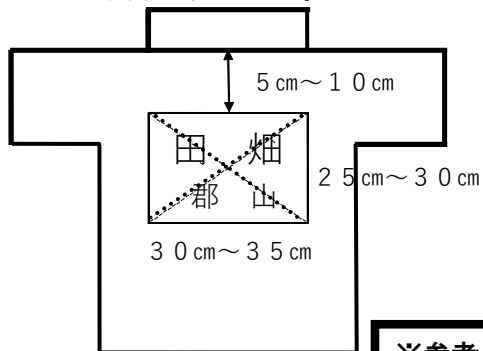
④ 柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

⑤ 胸のマーキングは学校名・校章のみ許容する（道場名は不可）。ブランド商標以外のメッセージやイニシアルなどのマーキングは認めない。

⑥ 下穿きの下に膝下より長いロングスパッツを着用することは認めない。

### (3) 検温

37.5℃以上ある場合は、開会式後に再検温する。それでも体温が高い場合は、大会の出場を認めない。



※参考 IJF 基準柔道着(認証柔道衣)

図1

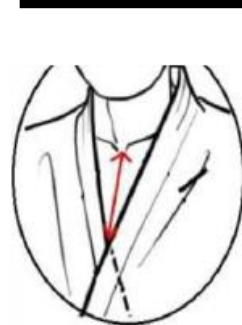
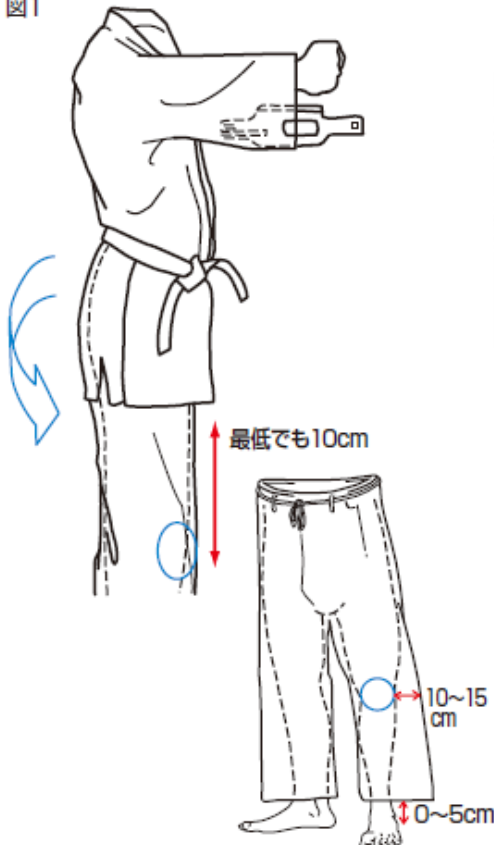


図2 拡大



図3

袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。

胸骨の一番上から襟の重なりあう部分まで垂直で 10 cm未満でなくてはならない。

上衣の併せ目で下襟の長さが、水平で少なくとも 20cm なくてはならない

<国内大会における女子選手T シャツのマーキング>

袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていないなければならない。

- ① 色は白，半袖，丸首
- ② 製造業者マークは、最大20cm<sup>2</sup>のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。
- ③ 正式な国家、NOC、もしくはIJF 加盟連盟のエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm<sup>2</sup>とする。
- ④ 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm<sup>2</sup>とする。いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

11. 引率及び監督等

(1) 監督、引率は当該校の校長・教員・部活動指導員（※1）とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。

- ① 満20歳以上であること。
- ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
- ③ 他校と兼務していないこと。
- ④ 中学校体育連盟の主催とする研修会を受講していること。
- ⑤ 次のいずれかに当てはまる者とする。

ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。

イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。

ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。

※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

(2) 部活動指導員が監督、引率をする場合、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」（※2）がチームに帯同すること。

※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1 部活動指導員の職務 第2留意事項(3)(4)より。

(3) 大会では外部コーチを置くことができる。ただし、令和2年度に外部コーチ登録をした者のみとする。外部コーチには教員の登録を認めない。また同一人が複数校の外部コーチになることはできない。

(4) 全日本柔道連盟が示す「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を熟読し参加すること。

(5) 審判員に準じた服装をすること。

(6) 健康観察報告書（様式2）をすること。

12. 申し込み 別紙申込用紙に記入の上、**8月31日（月）16：45**までに仙台市立郡山中学校・田畑宛てにデータをC4thで、申込書の原本は**必着**。東北学院と宮教大附属は委員長のメールアドレスに送ること。

13. 抽選会 令和2年9月9日（水） 午後3：00～ 於 仙台市立南光台中学校

14. 大会参加費 一人700円とする。(大会当日、受付にてお願いします。)

15. 表彰 (1) 男子・女子団体

優秀校は、男子第3位まで、女子第2位まで表彰する。今大会の結果は、春季大会のシードに反映する。

(2) 男子・女子個人

優秀選手は男女とも第3位まで(男女とも4名)表彰する。今大会の結果は、中総体のシードに反映する。なお、出場人数が少ない場合には、部会で表彰人数を定める。

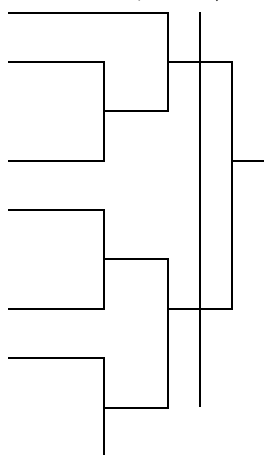
出場選手が少ない場合の表彰(内規)

参加者数8名以上	参加者数7名～3名	参加者数2名～1名
3位(ベスト4)まで表彰	2位まで表彰	1位のみ表彰

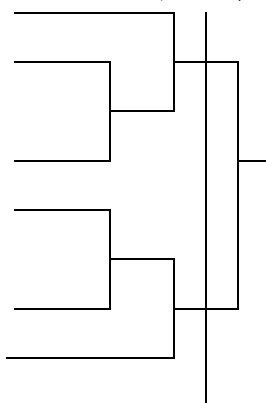
<内規の基準>

- ・入賞選手を決定するための決定戦は行わない。
- ・7名以下の場合の表彰は以下の通りとなる

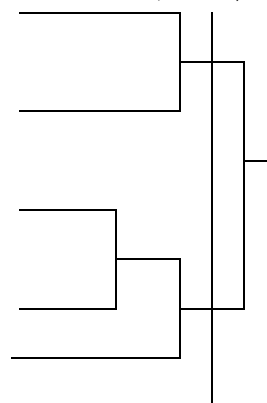
●参加選手7名→2位まで



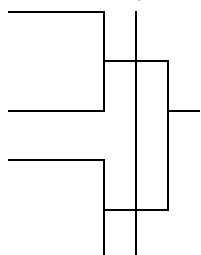
●参加選手6名→2位まで



●参加選手5名→2位まで

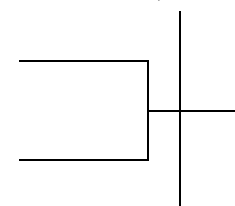


●参加選手4名→2位まで



●参加選手3名→2位まで  
リーグ戦

●参加選手2名→1位のみ



<確認>

※棄権により人数が少なくなった場合でも大会にエントリーした選手の数に即して表彰を行う。

(例)当初8名だった(トーナメント表には8名の図がある)が、棄権により7名になった場合には、3位(ベスト4)まで表彰を行う。

16. その他 (1)柔道精神に反する一選手は大会への出場を停止する。

(2)柔道選手らしからぬ髪型(パーマ、剃り込み、染色・脱色、異常なかりあげ等)や眉

(剃り込み・剃り上げ)の認められる選手の出場は認めない。

(3) 会場の入場制限について

今大会は、無観客で行う。会場外からの観覧も認めない。1階柔道場へ入場できるのは、大会役員・競技役員・選手・補助員のみに限る。その他は、部会長・副部会長・委員が認めた者のみである。選手も待機所で準備をし、柔道場での練習、試合はアナウンスにより移動を行う。1日目は、男子の個人戦のみ参加の選手の観戦は認めない。なお、2日目は女子の観戦を認めない。無観客試合のために、保護者駐車は禁止する。

(4) 大会の衛生について

国際柔道連盟・全日本柔道連盟・宮城県柔道連盟・宮城県武道館・仙台市体連等の指針に基づき大会運営を行う。大会関係者は、武道館、試合会場に入場する際は必ず設置されている消毒剤で手指消毒を行い、マスクを着用する。選手は、練習、試合以外ではマスクを着用し、試合場に入場する際、足消毒マットを踏んで足の消毒も行う。審判員はマスクを着用する。なお、選手は、練習、試合のために外すマスクは、配布されるクリアファイルに入れること。

(5) 会場の入場について

武道館1階観客入口から入場する。生徒だけで入場せず、必ず引率の教員と一緒に入場し、受付で、顧問が「大会参加に関する確認書」と「健康観察報告書」を提出し、検温が終了してから入場する。入場後は2階の待機所へ進む。役員は1階玄関から検温後に入場する。大会出場選手は顧問からマスクを入れるクリアファイルをもらう。

(6) 待機所や応援について

選手は待機所ではマスクを着用し、なるべく密にならない状態をつくる。応援での発声は控える。

(7) 着替えについて

選手は指定された場所で更衣を行う。男子は2階観覧席。更衣室は使用しない。女子は1階の女子更衣室を利用する。

(8) 柔道衣・計量について

柔道衣は、IJF認証のものを着用する。洗濯(消毒)がされていて衛生上、問題のないものを着用する。サポーターも同様である。柔道衣検査は、大会当日行う。その際、検温も行う。その後に、計量を行う。

(9) 選手が準備するもの

マスク、着替え、ビニール袋(使用後の柔道衣を入れる)を準備する。マスクを入れるクリアファイルは大会本部で準備するので、選手各自で必ず記名しておく。

(10) 選手の試合場の入退場について

選手は、誘導のアナウンス後に待機所から試合場に入る。入場の際は、柔道場入り口で消毒を忘れずに行う。試合後は、アルコール除菌をして待機所へ戻る。

(11) 試合前の練習について

選手の移動は、すべて大会本部アナウンスによる誘導で行う。大会本部の指示後、柔道場で密状態をなるべく避けて行い、お互い譲り合って行う。



(12) 試合について

グループに分けて実施し、すべての試合を2試合場で行う。例えば、予選は男子 A グループが試合をする場合、予選 B グループが練習をする。2つのグループが終わり次第、畳の消毒をする。その後、女子の総当たり戦、男子決勝を行い、表彰式を行う。その後で、女子の個人戦を2つのグループに分け行う。その際、分けたグループで表彰式まで行う。表彰式後、畳の消毒を行い、残りのグループの試合を行う。エントリー数によって、分けずに行う場合もある。

(13) 開会式・開始式・表彰式・閉会式について

大会役員、競技役員、出場選手のみで行う。開会式は男子が1階柔道場、女子が2階観覧席で出席する。表彰式は各階級試合終了後に入賞者のみで行う。開始式はAグループが1階柔道場、Bグループが2階観客席で出席する。閉会式は、その日の最後の表彰式と合わせて行う。

(14) 昼食について

2階観覧席で、対面や密にならないように食べる。各校で出したゴミは、必ず持ち帰る。

(15) 体調に異変を生じた生徒がいた場合は、大会本部へ報告をする。

(16) その他

不測の事態が生じた場合、部会長、副部会長、委員長が協議し、対応を決定する。

(17) 昨年度の各階級の優勝者は以下の通りである。

	団体戦	中野中学校			団体戦	七郷中学校	
男子	50kg級	岩崎	五城	女子	40kg級	中舘	将監東
	55kg級	千葉	中野		44kg級	山倉	五城
	60kg級	小野寺	八木山		48kg級	佐藤	将監東
	66kg級	庄司	広瀬		52kg級	今野	七郷
	73kg級	島野	柳生		57kg級	田村	長町
	81kg級	熊谷	宮城野		63kg級	木村	幸町
	90kg級	吉村	中野		70kg級	古内	袋原
	90kg超級	尾形	郡山		70kg超級	横野	七郷